

学びと誇りが実感できるまち ～気持ちをつづる習慣を！～

令和7年5月号

庄原市教育委員会
教育長 牧原 明人



夏立ちぬいつもそよげる樹の若葉 (日野草城)

若い力が躍動している様子を紹介します。2つです。

1つ目は、先月6日（日）に第9回庄原さくらフェスティバルが開催されました。昨年度に続き、今回もキャンパスエリアを中心に、市内の高校生や学生などが、歌やダンス・吹奏楽など、若いエネルギーあふれる発表を行いました。また周囲には高等学校や特別支援学校のコーヒー・ビスケット販売、パネル展示や学習の取り組み紹介などもあり大変盛り上がりました。こうした出演や出店などの経験は、やがて将来の庄原を支え創っていく原動力になっていくものと思います。

2つ目は、先月から今月にかけて行っている小中学校の学校訪問についてです。毎年度、教育委員の皆さんと共にすべての学校訪問を行い、子供たちが学んでいる授業の様子や学校行事などを参観、また校長・教頭、教務主任などから本年度の取り組みの概要説明を聞き、意見交換なども行っています。各学校とも子供たちが意欲的に学ぶ姿があり、さらに友達との意見交流も積極的に行い、目標に迫る深い学びとなるよう取り組んでいます。

さて、今回は、いろいろな機会を通して自分の気持ちや思い、考えなどをしっかりと書く習慣を付けましょうということです。具体的には、日記を書くことや作文・詩、俳句や短歌などに表現することができます。特に、子供たちには一日を振り返り日記を書くことを勧めます。

日記を書くことについて、次の言葉を聞いたことがあります。

日記を書くことは、心の整理にもってこい

日記を書くことは、日々の出来事を記録することもありますし、何かに感動したことや印象に残ったこと、考えさせられたことなど、その時の自分の気持ちを素直に表現することができます。そして、書き綴ったことについて、後で振り返って読み返すと、当時の自分からその後の自分の成長を実感したり、過去の経験から学びを得たり、今後についてよりよくしようと考えたりするのに役立つこともあります。また、感情を言葉で表現することで、自分自身と向き合い、心を整理することができます。

日記を続けることは、自分自身を深く知るための貴重な時間であり、客観的に見つめ直すこともできます。さらに、心の健康を保つこともできる方法であると言われています。

※ 次ページ：先月の活動等の中から、一部写真などで紹介します。

令和7年4月：活動など ちょっぴり紹介



4月4日（金）
特別支援教育支援員
及び 学校司書 研修会



4月5日（土）
東城町ためしげ 福寿草



4月7日（月）
庄原市天然記念物
藤木の桜



4月14日（月）～5月22日（木）まで
すべての小中学校の訪問（一部紹介）



4月23日（水）総領小



4月23日（水）板橋小



4月24日（木）東小